

新春チャリティー講演会

平田 昭子 (株)ダイコー商運



立春も過ぎ少しづつ春を思わせるような穏やかな日和の去る2月8日(木)、アクトシティ浜松大ホールにて新春チャリティー講演会「笑い と 人生」と題して、約500名(会員・一般)の皆様のご参加を頂き、落語家9代目林家正蔵氏をお迎えして開催されました。

前半は落語に関するお話から始まり、高座とは身分の高い僧侶が説教をするために座るところであり、噺家は、前座→二目目→真打と昇進していく。高座にある座布団は、縫い目の無い方をお客様に向ける(縁を切らない様にとゲン担ぎがあるらしい)

落語の面白味は『想像力』例えば話の中で蕎麦を食

べる動作で聞き手が蕎麦を思い浮かべるように。

また、東大寺のご住職に親孝行とは何かと問えば「親の話聞くべし!!」と返ってきた。など楽しいお話がいっぱいでした。

後半は、江戸小唄を2~3、その後「味噌豆」という古典落語を披露して下さいました。その頃にはすっかり正蔵師匠の世界に引き込まれ、皆様の笑い声、拍手が大きな会場に惜しみなく響いていました。

当日は大勢の皆様にも沢山の寄付を頂き、お礼に沢山の笑顔をお返しできたチャリティー講演会でした。ご参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。



静岡新聞西部版3月3日朝刊

